



『春めき』桜

南北に長い日本列島では、桜の平年の開花日は沖縄の一月中旬から北海道稚内の五月中旬まで、ゆっくりと北上していきます。いわゆる「桜前線」です。桜は花見に使われる木として重要で、花見の習慣は昔から日本人の生活の中に根差してきました。

俳句の世界では単に「花」といえば桜のことを指し、秋の月・冬の雪とともに三大季語『雪・月・花』になっています。これからしばらくの間、桜のことが話題になることでしょう。



*この句は、芭蕉が「奥の細道」の旅に出る前年の元禄元年(1688)、故郷の伊賀で詠んだ。

今、ふれあいの村では・・・

今年の一月に、「紀伊半島南部で見られる早咲きの桜が、野生種としては約百年ぶりの発見となる新種の可能性が高いことが分かり、クマノザクラと名付けられた」という報道がありました◆いよいよ本格的に、桜の開花が話題にのぼる季節になりました。私も花が咲くのを楽しみにしていました。もうひとつ気になる花が有ります。それは、コブシです。遠目には桜に似ていることや、開花が農作業の指標になる事から「田打ち桜」の別名があります◆低い位置に開花寸前の花を見つけ、翌日に一輪咲いているのを確認しました。陽気も暖かくなり、ふと顔をあげると、上方は青空に映え、たくさんの方が咲きほこっていました。



☆来月のファミリーコミュニケーションデー 5月6日(日)

10:00 ~ 12:00 《自然観察会》葉っぱを上手にクルクル巻く小さな虫?(参加費無料)

13:00 ~ 15:00 《クラフト教室》パドウィーク「巣箱作り」(材料費:200円)

(巣箱の材料の準備の都合上、なるべくご予約ください)

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

指定管理者:株式会社アグサ・関東学院グループ

所管課:神奈川県教育委員会教育局支援部

子ども教育支援課

電話:0465-72-2010 FAX:0465-72-2013

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>



ふれあい広場でく
らしている金太郎と
仲間たち。「じむしょ
のまえにあったとりの
すがこわれちゃっ
た！」とくますけ
がいました。
とてもがんばりよう
にできていたので、
だいにんきでまい
とし、シジュウカラ
とヤマガラがとり
あいをしていました。
このあいだのかぜの
つよいひに木から
おちて こなごなに
なって しまったの
です。「でも」と、
ウサギさんがいま
ました。「5月に 村の
しょくいんさんが
『すばこ』つくりの
きょうしつをやるそ
うだよ。よかったね」
「みんなのでつくり
たいね。たくさんで
きるといいな」

【巣箱作りは、5月6日です】

★フィールドワーク★

自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



キブシ

村の横を通る道路沿いのフェンスの向こう側は、キブシが花盛りです。淡黄色の花穂は、早春のまだ花が少ない時期に目立っています。ここは数メートルごとのキブシの植生が数百メートルにわたって続き、『キブシ街道』とも呼べそうな風景になっています◆キブシは日本固有種で、ほぼ国内全域に分布し、山地に普通に見られる落葉低木です。木の高さ2～3メートルほどになります。荒地にもよく現れ、海岸線から内陸の川沿いで見られるそうですから、ふれあいの村近辺の環境は生育に適しているようです◆スギナを見つけました。ツクシは胞子を散らした後に枯れ、地下に広がる地下茎から緑色のスギの葉に似たものが伸びてきます。これがスギナです。まるで、童謡の♪ツクシ誰の子、スギナの子♪です。



スギナ



ブナの花



セントウソウ



キュウリグサ



ヒメワズ



タチツボスミレ